

1. 2. 3. 4.  
せみみう  
いかな  
なみみだ  
るにのる  
みまみこ  
やもやこ  
こらころろ  
はるによ  
みあすな  
かめくみ  
みないだ

のるのを  
みみよぬ  
手やろぐ  
にここい  
よこびさ  
りそはり  
とたた主  
こええの  
しにずい  
えうみえ  
にるちを

たわああ  
てしふお  
りやん!  
れんげ!  
そしそわ  
ののこれ  
かびにら  
どぬはは  
のきみや  
うしかが  
ちもみて  
にののは  
むむせす

かくいく  
えいれい  
入をいぬ  
れあはし  
らたあの  
るえふみ  
るられこ  
はれてえ  
いよひよ  
かろろ  
なこりこ  
るびはび  
さかみき

いがなく わやぎら いくるん そいあな のとがが みうなま やるわな こわれざ にしし! あ主かあ

いのめ すみのに るやたむ 主こみけ はよはよ! まみよわ しめろれ たぐこら もうみびは よあへみ ろふいか こるわみ びるのの

おみしみ どころや れみせこ やのをに しゅまたつ くしえい さませに れすずむ しみきか たやくえ みこらら よ! よ! ん! れん!

都には神の栄光があった。その輝きは高価な宝石に似ており、透き通った碧玉のようであった。 黙示 21:11  
 もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中にあって、そのしもべたちは神に仕え、神の御顔を仰ぎ見る。  
 黙示 22:3, 4

5

人はいつの日か <sup>ゆ</sup>揺るがされぬ神の  
<sup>みやこ</sup>都を見るとき <sup>おどろ</sup>驚きにあふれ  
 そのうるわしさをば <sup>かた</sup>たがいに語らん。  
 なが<sup>たか</sup>心を高くあげよ! 主の日は  
 まもなく来たらん! 主の民のために!

6

御神の都よ <sup>とわ</sup>なれは永久のいのち  
<sup>みいだ</sup>見出せし民の <sup>たみ</sup>母なる都ぞ。  
 なれよりいつの日か <sup>かんせい</sup>歓声はあがらん。  
 われらを死と<sup>くる</sup>苦しみより 救うは  
 聖なる唯一<sup>ゆいつ</sup>の シオンの神なり!